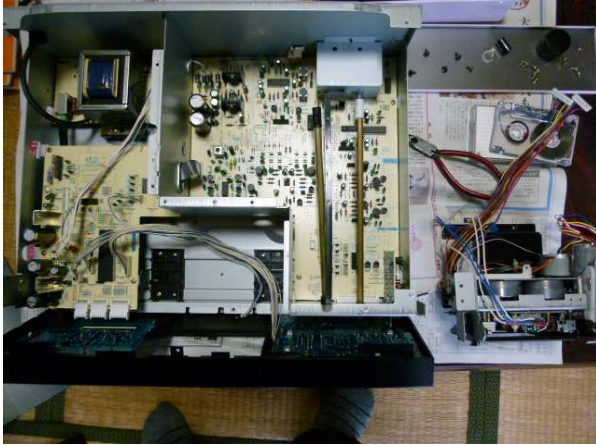
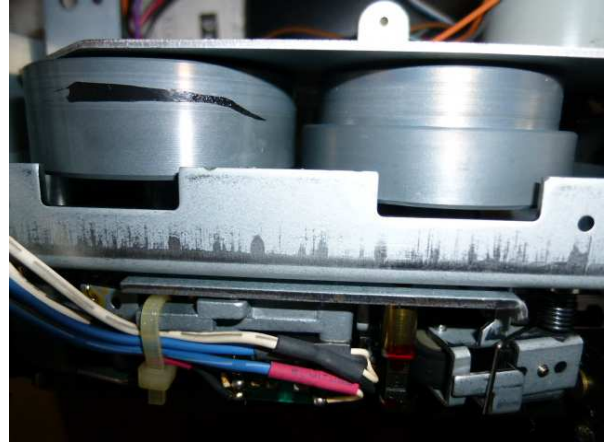


カセットデッキV5000

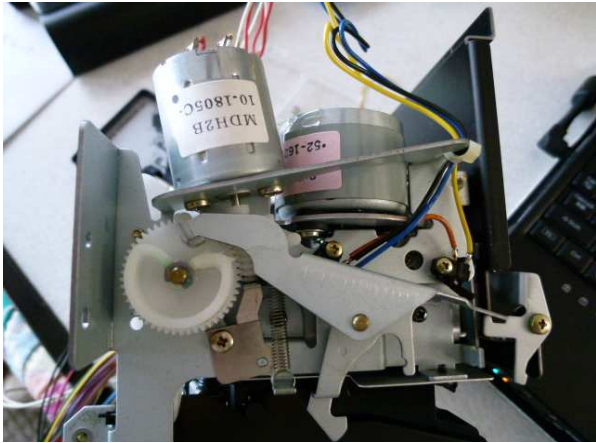
カセットデッキは5台保有していましたが次々と壊れてしまいました。世の中ネットオーディオの時代で、今更と思いますが昭和のアナログオーディオには音も見た目にも温かみがあります。このモデルは25年ほど前のTEACのV5000ですが3モータ、3ヘッドとしっかりしたロジック機となっています。再生不良となり10年になりますが、いずれ退職したら修理も出来ると思い放置していました。今回、このV5000を皮切りに5台すべて修理復活させたいと思い、意を決して蓋を開けました



上蓋を開け、前面パネルを外しカセット機を外したところです



フライホイールを見ますとベルトが切れ(何と溶けていた!!)無くなっています。



更にメカニズムをばらしてゆきます。キャプスタン、リール、ローディングの3モータメカニズムです。



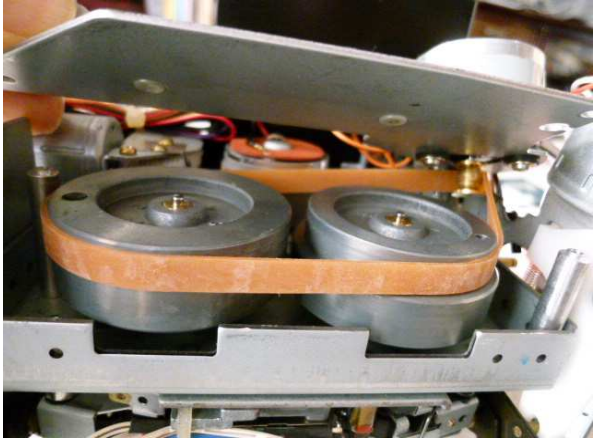
フライホイールをドライブするベルトが経時変化で溶けてプーリに巻きついていました



ピッタリ付着した溶着ゴムを取り除く作業は大変でした。ペンチやカッターを駆使し、同時にエタノールで溶かしました。



メカに問い合わせでも部品はなくホームセンターで類似品を探しました



折径125mm幅5mmの輪ゴムをフライホイールに取付、メカニズムをエタノール清掃後、組付します。



検査後半日エージングし完了。しかし、ホームセンター入手品ですので寿命は分かりませんが。

今回、原因がわかりTEACのサービス部門に部品の問い合わせを何度かメールのやり取りをしました。当然ながら廃盤部品は7年以上経過しており、在庫もなく供給は出来ない結論になりましたが、簡単なベルト仕様を教えて戴く事ができました。修理できたこと以上に、きめ細かな窓口担当者に好感が持てたこととうれしさ倍増でした。